

# ISO45001取得で 3つのMSを統合

## 中村建設(甲斐市)

社員と社員の家族が明るく健康で暮らせる会社づくりを目指すため、中村建設(甲斐市万才300番地、中村国男代表取締役社長)は「ISO45001」(労働安全衛生マネジメントシステム)を2月27日に取得した。県内での取得はまだ少ない。同社は2000

年7月に「ISO9000 1」(品質マネジメントシステム、以下マネジメントシステム・MS)の認証を取得し、顧客満足の上、品質リスク管理に於ける経営管理を行ってきた。09年3月には「ISO9001・14000」(環境MS)を取得。地球環境の保全に努めるため「チャレンジ産廃3R優良事業者認定・温室効果ガス抑制チャレンジ認定事業者・エコマーク商品認定事業者・山梨県地球温暖化防止事業者」などにも認定され、環境リスクの管理を行っている。現在、「ISO9001・14000」3つのMSを統合した統合マニユアルによりISOの運用を活用してより良い



ISO取得を喜ぶ中村社長(右)と高橋部長

会社づくりに努めている。「ISO45001」(労働安全衛生マネジメントシステム)の取得に向けて、同社は労働安全マネジメントシステムOHSAS18001を15年に認証を取得し、防災事故の防止、社員の健康管理のためのマネジメントシステムを運用していたが、18年に同規格がISO化され、ISO45001となったことか

ら、同規格の認証取得に向け17年10月より運用を開始、20年2月にMSを統合した取得となった。同社では防災事故のゼロ化を目標とし、労働安全衛生法の順守を宣言。具体的には定期健康診断の実施(診断結果の管理)、社員のストレスチェック(個人面談や部門内コミュニケーションの充実)、事務所内の作業環境の改善、労働安全衛生に関する勉強会の開催、安全衛生大会の開催などを実施している。

また現場では、責任者が年間の「労働安全衛生目標」を設定(夏場の熱中症対策、冬場の転倒防止、重機・車両との接触防止など)し、毎月実施状況を管理。各現場毎に「労働安全衛生リスク」を抽出し、日々の朝礼において「危険予知活動(KY活動)」を徹底し、防災事故発生の防止対策を行っている。

中村社長は「現在はISOの3つの規格の推進とともに、健康経営優良企業の認定さらに地域未来牽引企業の認定も目指している。今年はコロナウィルスの感染防止に向けても社員に気を配り対策も施している。今後も社員また協力会社と共に地域社会に貢献できるように幸福度の高い組織づくりを考え、今は一日も早くこの社会の不安な状況が解消されるように願っている」と話す。